

藤本幸久 影山あさ子共同監督作品

# 辺野古ゲート前の人びと

森の映画社/98分/2017年11月



辺野古ゲート前は、いろんな人が行き交う人間交差点。何度、強制排除されようと、また、ゲート前に座り込む。替え歌文化の花が咲く。沖縄戦や沖縄の戦後を一人一人の肉声で聞く。

「サイパンの玉砕を生き延びた」、「ひめゆりの塔のあたりで、妹を日本兵に殺された」、「宮森小学校への米軍ジェット機墜落、17名死亡。黒焦げの墜落現場を見た」、「米軍基地で、沖縄人への差別の中で働いていた」・・・戦争が終わっても平和のこない沖縄の現実、基地との同居を強いられる沖縄県民の痛みが、語られる個人史を通して伝わってくる。

埋め立て本体工事が着工され、石材が次々と海へ投下されてゆく。カヌーで抵抗する人たち。

2016年10月17日、現場のリーダー山城博治さん逮捕。起訴、拘留5か月。その頃から、沖縄県警の弾圧が激しさを増す。工事を止めようとダンプやトラックの前には立っただけで、押し倒され、女性たちが手錠をかけられ逮捕されてゆく。機動隊の暴力で、脳挫傷の重傷を負う人も出た。

しかし、ゲート前の人たちは屈しない人たちだ。逮捕されても、釈放の翌日には、ゲート前に戻ってくる。再び、ゲートの前に座り込む。採石場や国道でダンプの前に立つ。

この人たちを見てほしい、この人たちに出会って欲しい。今こそ。



「辺野古ゲート前の人びと」札幌上映会 (藤本幸久・影山あさ子共同監督作品)

日時 2017年12月21日(木) 18:00~19:45

会場 北海道自治労会館 3F 中ホール (札幌市北区北6条西7丁目)

主催 北海道平和運動フォーラム (Tel 011-231-4157)

入場無料 事前申込み不要